プラノプロフェン錠
Pranoprofen Tablets

溶出試験　本品 1 個をとり，試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 VmL を正確に量り，表示量に従い 1mL 中にプラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)約 21μg を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に V'mL とし，試料溶液とする．別にプラノプロフェン標準品を酸化リン(V)を乾燥剤として 4 時間減圧乾燥し，その約 0.021g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に 50mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 275nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

プラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S ：プラノプロフェン標準品の量(mg)

C ：1 錠中のプラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
75mg	30 分	80%以上

プラノプロフェンカプセル
Pranoprofen Capsules

溶出試験　本品 1 個をとり，試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)900mL を用い，溶出試験法第 2 法(ただし，シンカーを用いる)により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 VmL を正確に量り，表示量に従い 1mL 中にプラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)約 21μg を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に V' mL とし，試料溶液とする．別にプラノプロフェン標準品を酸化リン(V)を乾燥剤として 4 時間減圧乾燥し，その約 0.021g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に 50mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 275nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

プラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S ：プラノプロフェン標準品の量(mg)

C ：1 カプセル中のプラノプロフェン($C_{15}H_{13}NO_3$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
75mg	45 分	70%以上